

5月8日(月)

## ペテロのために

聖書朗読 ヨハネ 21:15~19

それといっしょに、彼がまだ言い終えないうちに、鶏が鳴いた。主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度わたしを知らないと言う」と言われた主のおことばを思い出した。彼は、外に出て、激しく泣いた。  
ルカ 22:60~62

イエス様は復活されたのち、ペテロと二人きりの時間をもたれ、「同点にする」機会をペテロに与えられました。ペテロは、自分がイエス様のことを知らないと言った記憶がずっと頭から離れなかったに違いありません。イエス様には、ペテロが「同点になる」ようなことをされる必要はありませんでした。というのは、ペテロがあえて何も言わなくても、何もしなくても、彼のことをすでに完全にお赦しになっていたからです。ですから、イエス様がペテロと二人きりの時間をもたれたのは、ペテロのためでした。3回、ペテロは自分がイエス様を愛していると宣言することを赦されました。3回の否認を補うための3回の宣言です。

このことは、イエス様の全き愛をあらわしています。鶏が鳴き、イエス様が自分のことを見つめられた恐ろしい瞬間を補うために、イエス様の御顔に愛を見ました。イエス様が自分のことを赦してくださり、自分を洗い流してくださる愛を感じるために、イエス様は明確な瞬間をペテロにお与えになりました。

私たちもまた、同じようなことを人にする必要はあるかもしれません。心の中では相手のことを許しているけど、それを心のうちにとどめていることはありませんか？ 相手の人にとってはその問題に触れて、あなたの許しを感じる瞬間を持つことが必要なのではないのでしょうか？ 相手の人が「同点になる」機会を提供する方法はありますか？ 私たちの愛はイエス様のように完璧ではありませんが、それでも、あわれみ深いイエス様のお手本に倣うことはできます。そうすることで、結局は、私たちがたくさん赦されることになるのです。

讃美歌 248

祈り 親愛なる神様。私のことを何度も何度も赦してくださり、あなたが与えてくださいますあわれみと御恵みを感謝いたします。自分が許さなければならぬ人たちに、私の心を開いてください。そして、彼らが私を通してあなたのことをもっとよく知るために、あなたの慈しみをどのようにして広めたいかを示してください。

イエス様の御名において。アーメン。

リサ・ラングフォード  
テキサス州 ラボック

## 今日のカ

2017年5月8日~5月14日

翻訳 村越克子

中野雄貴

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月9日 (火)

## 就 任 準 備

聖書朗読 使徒 1:1~5

キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、  
エペソ 5:25

「イエス様をお与えください。でも教会は与えないでください」という願いを聞いたことがありますか？ この世での最後の40日間、イエス様は神の国について使徒たちに示されました。この最後の40日間は、イエス様のすべてのお働きの中でも、重要な部分を占めていました。神の国のことは重要なことでした。この世でのイエス様のお時間が残りわずかであることがわかっていたので、弟子たちは、この貴重な40日間で、イエス様が神の国について語られるすべてのみことばを記憶しなければなりませんでした。私たちがイエス様のことを愛しているのなら、イエス様が愛されたものも、愛することになります。

この40日間で、イエス様は、ご自身が成し遂げられた預言のすべてについて弟子たちにお示しにならなければなりませんでした。イエス様は教会のためにご自身のいのちをお与えになり、そして、ペンテコステの日に教会の王になられました。洗礼者ヨハネはイエス様にバプテスマを受け、ペテロはイエス様がメシアであると宣言し、神様がイエス様に聖霊と力を注がれたことをあかししました(使徒の働き10:38)。イエス様はダビデの王座に着くお方でした。使徒たちは聖霊に満たされ、天に昇られたイエス様についてエルサレムで宣教しました。そのことによって、多くの人たちがイエス様に入るバプテスマを受けました。これはとても重要なことです。神の国のはじまりが、神の国を愛する王によって詳しく語られたとういことです。

讃美歌 537

祈り 親愛なるお父様。王イエス様を感謝いたします。あなたの右の座に着いていらっしゃる私たちの司祭である王にお仕えすることは、本当に素晴らしい御恵みです。

イエス様の御名において。アーメン。

バリー・ポイナー  
ミズーリ州 カークビルズ

5月10日 (水)

## ひ と つ の 家 族

聖書朗読 使徒 2:41~47

信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。  
使徒 2:44

どれくらいの頻度で、すぐに仲良くなれそうな人に出会いますか？ 結構まれなことではないでしょうか？ 仕事や経済的立場、教育的レベルの違う人の中に、お互いに関心を持てる人が見つかるのは例外的なことです。ましてや、いろいろなタイプの人、つまり、これまでさまざまな人生を歩み、経済的狀態や教育的背景が異なる人たちが構成されている家族の一員であると自分が感じることは、さらに注目すべきことです。

初期のクリスチャン(使徒 2:44~47)はいっしょにいて、神様とともに賛美することに喜びを感じていました。喜びとともに食事をともにし、パンを裂き、ともに祈り、毎日、家から家へ、家から宮へと移動しました。霊的な家族が必要としている物があれば、資産や持ち物を売り、それぞれの必要に応じてみんなで分配していました。

神様の家族とは、神様を信じる者たちに与えられた最高の祝福です。それは、愛、慈しみ、御恵みの贈り物です。キリストにある兄弟姉妹とともにあるという、この特別な仲間値するようなことすることは、私たちには決してできません。私たちの特別な家族は全世界に通じるものです。ヨハネはヨハネの福音書13:35で、このように語っています。『もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたが私の弟子であることを、すべての人が認めるのです。』と。私たちは、神様の家族なのです。

讃美歌 第二編 71

祈り 親愛なる主よ。霊的な兄弟姉妹と仲間であることを感謝いたします。お互いに愛することができますように。そして、私たちがあなたの真の息子であり娘であることを、すべての人に示せるように助けてください。

キリストにおいて。アーメン。

コニー・シンプキンス・トーマス  
ケンタッキー州 マウントワシントン

5月11日 (木)

## 悔い改め

聖書朗読 使徒 3：17～26

そのように私たちは神の子孫ですから、神を、人間の技術や工夫で造った金や銀や石などの像と同じものと考えてはいけません。神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。  
使徒 17：29～30

親は、子どもの欠点を見過ごすということ、特に、子どもが無知から行動していると感じるときに見過ごすとは、どのようなことかを知っています。パウロが「あなたがたは、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにあのような行ないをしたのです」と言ったとき、明らかに、親が子どもに与えるのと同じ猶予をユダヤ人に与えていました。

のちに、パウロは、サムエル以降のすべての預言者が預言したお方のことを、神様が選ばれた民に思い起こさせました。そのお方は神様が立てられ、最初にユダヤ人のもとに遣わされ、邪悪な道から彼ら一人ひとりを立ち返らせることで彼らを祝福するために遣わされたお方でした。神様が、ユダヤ人の父であるアブラハムに、彼の子孫を通して、地上のすべての民族が祝福されると約束されたことを、イエス様が成就されたという事実をユダヤ人は見逃してしまいました。

私たちはどうでしょう。私たちは古代の人たちが知っていたことは、すべて知っていて、それ以上のものがあります。私たちには新約聖書がありますし、イエス様が地上で過ごされたときのお手本があります。初期の教会のことも知っています。聖なるお方の死と埋葬と復活の目撃証人の証言もあります。神様が、私たちの無知を見過ごされていたときは過ぎたという、パウロの警告をもっと真剣に受け止めてもいいのではないのでしょうか？ 私たちに必要なのは、悔い改めなのです。

讃美歌 第二編 188

祈り お父様。自分が知っていることに基づいて行動していないことを悔い改めます。

イエス様の御名において。アーメン。

ケイ・エバンス  
テキサス州 ラボック

5月12日 (金)

## ドルカス：光に満ちた人生

聖書朗読 使徒 9：36～43

同じように女も、つつましい身なりで、控えめに慎み深く身を飾り、はでな髪の間とか、金や真珠や高価な衣装によってではなく、むしろ、神を敬うと言っている女にふさわしく、良い行いを自分の飾りとしなさい。 I テモテ 2：9～10

ペテロの訪れた朝、ドルカスの遺体が置かれた屋上には彼女が生前作った服を着た人々が多く集まっていた。このことは彼女の行いがただの素敵な衣装を見せびらかすというものではなかったことを示しています。お手製のチュニックや衣服は彼女自身の為ではなく、むしろご近所さんや友達のための物でした。彼女のしてきたのは隣人のための行いだったのです。

若いお母さん方は子どもに奉仕を教えるために心血を注ぎます。また、母親は子どもたちがけんかや言い争いをしたときに中立の立場として彼らを叱ります。子育ては時に、子どもたちに恨まれることもあります。しかしこれなくして社会の平穏はありません。私たちはドルカスの母親について話すことはありませんが、しかし彼女もまた素晴らしい女性だったことを確信できます。私たちは彼女がドルカスを育て上げたことを知っているのですから。

このドルカスの話はハッピーエンドで終わります。ペテロはドルカスをよみがえらせたのです。誰もこの話に異議をはさめないでしょう。だって彼女はその人生を間違いないくやもめや隣人に希望を届けるために使っていたのですから。

讃美歌 438

祈り 神様。今日私たちはドルカスという素晴らしい女性について学びました。感謝します。私たちが良い行い、奉仕をすることができ、あなたの素晴らしい平安の中で過ごせますように。アーメン。

スコット・ゲージ

アーカンソー州 ファエットヴィレッジ

5月13日 (土)

## 自由になる自由

聖書朗読 ローマ 3：9～20

肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の立法に服従しません。いや、服従できないのです。 ローマ 8：7

最近、ある若い男が全てをなげうっても洗礼を受けたいと望んでいました。この男はとっくにキリストにほれ込んでいたのです。愛の交わりは彼を神のしもべになるように導いたのです。でも彼は洗礼を受けることに踏み切れていないでいました。彼は中毒者であり、もし神のしもべになったとしても彼は中毒症状を改善することができないと考えていました。

「この罪を乗り越えられたら、僕はクリスチャンになれるのに。僕が救うに値するほど良い人間であったなら今すぐにでも受洗するのに」。皆さんも乗り越えられない誘惑や罪のために受洗をためらっている人を知っているでしょう。

しかし真実は「十分良き人間なんかあなたにはなれない」ということです。罪は人類普遍の法則です。彼らに私たちクリスチャンも自分の罪を自分で贖えていないことを示さなくてはなりません。私たちが自分の罪を自らの力で贖うことなどできないのですから。

あの若い男がこの結論に達したとき、彼は神を信じるその信じられないような喜びに気がつくでしょう。彼はキリストの内にあって聖霊が自分を強めて、欲望を乗り越えることができるということを学びます。罪の重荷から解放されたとき、私たちは聖霊の力をもって悪い習慣や中毒を乗り越えることができます。神様の愛は私たちに自由にします。

讃美歌 第二編 167

祈り 天のお父様。私たちが欲望にとらわれないように、悪魔に耳を傾けないようにしてください。私たちがあなたに許されたものとして日々を歩めますように。アーメン。

ペニー・F・ニコルス  
テキサス州 オデッサ

5月14日 (日)

## 神の義

聖書朗読 ローマ 3：21～26

すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません。 ローマ 3：22

神様は私たちのすべての責任を負っているのでしょうか？ 神様は私たちが望むどんなものであっても与えねばならないのでしょうか？ そのことは義なることなのでしょう。例えばあなたの子どもが「パピのものがほしい。パピの銀行口座を好きに使わせてほしい。パピがやったことは何でも私の功績にしてほしい」と言ったとしましょう。なんでこんな大それた願いを言うのと聞いたら「私はあなたの息子でそれを受ける権利がある！」などと言いました。

あなたには権利がある！ これはすべてのコマーシャルの根幹にある言葉です。かつては、人々は自らの手で働いていました。しかし今は多くの人が働きもせずに権利だけ享受しようと考えています。

神様はこれを見てどう思われますか？ 私たちが神様を必要としているときにこれで助けてくれるのでしょうか？ 私たちは真実なる答えを祈りの中に求めていますか？ 私たちは神様を信じるのに条件を付けてはいませんか？

神様は私たちに何の責任も負っていません。パウロはそのことをこのように言っています。『形造られた者が形造った者に対して、「あなたはなぜ、私をこのようなものにしたのですか」と言えるでしょうか。』（ローマ 9：20）。神様は私たちに對し何の責任も負ってはいませんが、しかしいくらかの物を負ってくださっているのです。神様はその義をキリストによって示されました。キリストの十字架での贖いは私たちが神の義の道に入ることを許してくださったのです。

讃美歌 262

祈り 神様。あなたは私たちをおつくりになられました。あなたがキリストを与えてくださったことに感謝しています。想像できないぐらいの恵みを日々あなたが与えてくださることに感謝します。私たちが権利を求めてしまうことをお許しください。アーメン。

ジョー・バーネット  
テネシー州 ナッシュビル